

西尾市教育委員会事業（平成 29 年度事業）の評価所見

	課かい名	事業名	所見
1	教育庶務課	私立高等学校等 授業料補助事業	<p>私立高等学校等に通う生徒の授業料を負担する本事業は、公私立学校間における授業料負担の格差を是正し、教育機会の均等を図るためのものであります。</p> <p>市長マニフェストや市政方針で掲げている子どもの貧困対策の手段として、現制度の一律定額支給から所得基準による低所得者層への増額を検討していることは評価できます。さらに、改定した場合においても継続して貧困世帯の実情や近隣市町の状況を調査するなど、適正な基準を追求していただくよう要望します。</p>
2	スポーツ課	愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会	<p>スポーツ振興や市町村の交流を目的とした本大会に、西尾市チームとして費用を抑える努力をしながら、陸上連盟との連携による質の高い練習を行い、好成績を残していることを評価します。</p> <p>市全体で参加者を応援する機運を高め、引続き選手に対するサポートの充実や事業の周知を要望します。さらに、新しい費用を捻出するため、スポンサーの確保等民間と連携した新たな方法を展開していただくことを期待します。</p>
3	図書館	図書館障害者サービス	<p>高齢者や障害者への行政による対応はこれからますます充実が求められると予想され、そういった方々が不自由なく図書館を利用できるような施設の整備や点字図書の実施、朗読サービスの実施を目標とし重点的に実行しようとしている試みは評価できます。</p> <p>施設の整備等予算的に難しい面はあると思いますが、職員の研修等により障害者サービスの理解を深め、全体で取り組んでいっていただくことを要望します。</p> <p>また、取り組んでいる内容を広く周知し、市民に知っていただくことも重要であると考えます。周知の取組に力を入れることや障害者サービス利用者の満足度を調査する等の工夫を期待します。</p>

4	学校教育課	中学生海外派遣事業	<p>昭和 61 年度から中学生を海外に派遣しホームステイ等を通じて国際交流活動を推進してきた本事業は、国際理解の推進や国際感覚をもつための教育としてこれまで 1,000 名以上の生徒を派遣した実績があります。</p> <p>情報社会の発達や、テロ・感染症等を懸念していることからか、派遣応募者数が年々減少していることや、ホームステイの形が変わってきてしまっていることを課題として認識し、イングリッシュキャンプ等実情に合った事業に切り替える方法を模索していることを評価します。</p> <p>今後も拡大していく社会の多様化に向けた、柔軟で視野の広い生徒を育成するための調査研究を行い、積極的な事業実施をしていただくことを要望します。</p>
5	生涯学習課	ゲンジボタルの里管理事業	<p>平原のゲンジボタルの里は、ホテル観賞の名所として有名であり、平原ゲンジボタルの里保存会に施設管理等を委託し、学校を始めとした地域住民を巻き込んだホテルの里の管理ができていたことを大いに評価します。</p> <p>一方で、自然環境の変化等が原因と思われるホテル減少の深刻化や、平原ゲンジボタルの里保存会構成員の高齢化等人的的解決が難しい課題にも直面しており、現状の積極的な周知等により市民の環境保全の意識を高めていただくことを要望します。</p>
6	文化振興課	「尾崎士郎賞」	<p>西尾市出身の小説家である尾崎士郎の氏名を冠した尾崎士郎賞は、文章作品を全国から募集し懸賞するものです。</p> <p>北海道から沖縄まで日本全国から広く応募があり、西尾市出身の尾崎士郎を全国に知らしめるとともに、学生の部を設け小中学生からも作品を募集することにより、文学の歴史を未来へ引き継ぐための取組として実施されていることを評価します。</p> <p>歴史小説等小中学生にも興味を持ってもらえる部門を創設することにより応募数を拡大する取組や、短編小説等の部門を創設し、尾崎士郎賞が小説家の登竜門とも言われるような、賞の価値を上げる取組を期待します。</p>